

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	男女共同参画社会づくり				予算施策コード	kk06	
担当部局名	県民環境部	県民生活局	男女参画・県民協働課	評価責任者	課長 新田 真理	連絡先	3465

1 施策の内容

施策の目標	男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を図る。
-------	---

これまでの取組み	<p>男女共同参画社会基本法及び男女共同参画推進条例に基づき、第3次愛媛県男女共同参画計画に沿って、全庁的な推進を図っている。主要課題として「男女の人権尊重」「男女共同参画の視点に立った意識改革」「意思決定の場への女性の参画拡大」「家庭生活と仕事、地域活動が両立する環境整備」「雇用等における男女共同参画の推進」を掲げており、DV防止や性暴力被害者支援など女性への暴力根絶対策、男女共同参画に関する学習機会や情報の提供による意識啓発、審議会等への女性登用など県の姿勢の明確化、女性のチャレンジ支援や能力向上の機会提供、拠点施設である男女共同参画センターの設置、苦情処理制度や審議会等の運営等に取り組んでいる。</p> <p>また、人口減少・少子高齢化社会において、女性の活躍推進は喫緊の課題であり、「えひめ女性活躍推進協議会」など多様な主体との連携により、経営陣や企業への意識啓発、女性メンターの育成、愛媛県版イクボス「ひめボス」の推進等に取り組むとともに、女性活躍の推進力ともなる男性の家事参画を推進している。</p>
----------	--

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	審議会等委員の女性の割合				B	男女の地位が平等と感じる人の割合					
選択理由	施策目標の達成には、女性が意思決定に参画することが不可欠であるので県が率先して取り組む。				選択理由	「どちらかの性が非常に優遇されている」という両極端な意見が平等に集約していくことが、性別に関わりなく、その個性と能力を発揮することができる「男女共同参画の実現」につながるものと認識しており、成果指標とする。					
算定方法	女性委員の総数／審議会委員の総数				算定方法	世論調査(「平等になっている」「どちらかといえばどちらかの性が優遇されている」と感じる人の割合の合計)					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人		%	千円		%	千円					
2年度	45	41.1	91.3%	-	71.4	-	103,382	14,943	12	88,427	99,499	54,130
3年度	45	40.6	90.2%	-	74.8	-	168,783	70,577	12	98,194	161,254	53,240
4年度	45	39.6	88.0%	85	72.9	85.8%	119,794	27,309	12	92,473	111,669	50,160

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	男女共同参画社会基本法において、男女共同参画社会の形成促進等に関する施策の策定と実施が地方公共団体の責務とされるとともに、男女共同参画計画を定めることが県の義務とされている。また、県男女共同参画推進条例においても同様に定めており、関与の必要性和妥当性が高いことは既に社会的認知を受けているものと認められる。市町と協働して推進する必要があり、市町は推進体制の整備や各地域に応じた施策の推進が求められている。なお、平成28年4月から全面施行された女性活躍推進法においても、地方公共団体は必要な施策を策定・実施しなければならないとされている。									
高い												
成果指標A	説明	第3次愛媛県男女共同参画計画において課題と目標、施策を体系化しており、令和4年度～令和12年度の計画期間について、施策が総合的計画的に推進されるよう体制が確立されている。計画の進捗等については庁内の推進体制として設けられた愛媛県男女共同参画推進本部(訓令設置)、及び外部委員で組織する男女共同参画会議(条例設置)で毎年度の報告を行っており、審議会等委員の女性の割合は、第3次愛媛県男女共同参画計画の数値指標としている。審議会等委員の女性登用推進については、「登用率向上対策実施要領」に基づき、意識改革の促進や慣例的な登用の見直し等を庁内に働きかけ、達成していない審議会等は事前協議により、未達成の理由や今後の対応等を確認しているほか、女性人材リストの提供や公募委員制度により、全庁的な取組を推進しているところであり、5年度の成果指標の向上が期待できる。										
成果動向		横這い										
成果向上余地	成果向上が可能											
成果指標B	説明	第3次男女共同参画計画の数値指標として、新たに設定した成果指標であり、極端な意見が中央(平等)に集約されていくことが、成果であると認識しており、男女共同参画に関する事業を継続して実施していくことで、5年度の成果指標の向上が期待できる。										
成果動向		横這い										
成果向上余地	成果向上が可能											
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.06	順調・向上	成果向上余地	1.38	成果向上が可能						

4-1 事務事業管理シート (評価対象事業)

予算施策名

kk06

男女共同参画社会づくり

1 えひめ女性活躍推進強化事業費							指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	実績	達成率	事業費計		国費	その他	県費	人役	人件費	方向1	方向2	方向3							
活動 + 70-	メンター制度へ参加するメン ティの数	人	30	23	76.67%	11,770	5,885		5,885	0.8	5,413	休止・廃止										
指標種類2	指標名称2	単位	20	19	95.00%	10,640	5,320		5,320	0.8	4,840											
活動 + 70-	ひめボスグランプリ (交流 会・研修会) への参加人数	人	10	10	100.00%	10,044	5,022		5,022		4,777											
指標種類3	指標名称3	単位	150	121	80.67%	9,336	6,942		9,512		9,512											
活動 + 70-	ひめボス事業所plus (plus +) 認定事業所数	社	30	35	116.67%	2,970	1,485		2,966		2,966											
成果 + 70-	ひめボス事業所plus (plus +) 認定事業所数	社	40	15	37.50%	2,826	1,413		2,839		2,839											
初期	末期	事業の概要											見直し 方向性	事業見直しにより廃止する。 令和5年度以降は新ひめボス宣言事業所魅力化支援事業を実施することとして おり、人口減少対策、女性活躍、仕事と家庭の両立等の取組みを強力に後押し するため、既存のひめボス宣言制度の大幅なリニューアルと併せた奨励金制度 を創設するとともに、若年女性の高いキャリア意識に応えるため、さらに女性の 就業継続を支援するため、人材育成等を促進し、自分のありたい姿に向かって いきいきと歩む女性が増えるよう機運醸成を図ることとしている。								
H27	R4	「女性活躍」を推進するため、「えひめ女性活躍推進協議会」や市町等オール愛媛で連携して、経営戦略としての「ひめボ ス」の取組みの具体化や組織の枠を超えた女性の人材育成等を一体的に展開し、ひめボスのブランディングに取り組 む。																				
2 男性の家事参画推進事業費							指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	実績	達成率	事業費計		国費	その他	県費	人役	人件費	方向1	方向2	方向3							
成果 + 70-	家事参画に積極的になった参 加者の割合	%	60	91	151.67%	2,970	1,485		2,966		2,966											
指標種類2	指標名称2	単位	60	78.3	130.50%	2,826	1,413		2,839		2,839											
活動 + 70-	大学での講座参加者	人	120	380	316.67%	2,826	1,413		2,839		2,839											
指標種類3	指標名称3	単位	120	479	602.50%	2,826	1,413		2,839		2,839											
活動 + 70-	カジダン実践講座の受講者数	人	90	73	81.11%	2,826	1,413		2,839		2,839											
初期	末期	事業の概要											見直し 方向性	事業期間が満了することにより廃止する。 令和5年度からは、男性の家事参画・育児支援事業を実施することとしており、 これまでの男性の家事参画を推進することに止まらず、若年層に対し自身のラ イフデザインについて考える機会を提供する講座等を実施し、結婚や出産等の ライフイベントに直面した時に、主体的・自律的に選択できる力を身に付けられ るよう事業展開する。								
R2	R4	男性の家事参画は女性活躍の大きな推進力となり、少子化対策の鍵となる重要な取組みであることから、家事を楽し み、積極的に取り組む男性(カジダン)を育成するため、講座の開催やネットワーク化、カジダンをキーワードに若者目線 での職場改革に取り組む。																				
3 性暴力被害者支援センター運営事業費							指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画	実績	達成率	事業費計		国費	その他	県費	人役	人件費	方向1	方向2	方向3							
成果 70-	電話・面談による相談受付件 数	件	-	309	-	16,365	7,573		17,739		18,093											
指標種類2	指標名称2	単位	-	351	-	15,884	8,070		16,405		17,157											
活動 + 70-	連携機関会議の開催回数	回	1	1	100.00%	15,884	8,070		16,405		17,157											
指標種類3	指標名称3	単位	1	1	100.00%	15,884	8,070		16,405		17,157											
活動 70-	支援員の研修回数 (受傷対策 含む)	回	12	23	-	15,884	8,070		16,405		17,157											
初期	末期	事業の概要											見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3								
H30	予定・見込 があれば記入	性暴力被害者の尊厳を守り、心身に受けた被害の軽減、当該影響からの早期回復に資するため、被害者に対する専門 の相談窓口機能を持ち、必要に応じて医療的支援、心理的支援、法的支援、同行支援など総合的な支援を行うウンス トップ支援センターを運営する。																				

4 男女共同参画社会づくり推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	45	45	45	/	予算	事業費計	1,866	3,619	3,664	2,026	評価	登用率向上に向けては、意識改革の促進や慣例的な登用の見直し、女性人材リストや公募委員制度の活用などを働きかけ、全庁一丸となった取組みを推進する。	方向1	このまま継続		
成果	+	70-	審議会等における女性委員の割合	%	実績	41.1	40.6	39.6			国費		851	1,638					方向2		
					達成率	91.33%	90.22%	88.00%			その他									方向3	
指標種類2	指標名称2			単位	計画	40	40	40			決算	事業費計	1,866	2,768	2,026				2,026		見直し 方向性
活動	+	70-	公募をした審議会等の数(一括公募による)	数	実績	8	9	6				国費		160	1,306						
					達成率	20.00%	22.50%	15.00%				その他									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	120	120	120		人役		事業費計	1,220	1,895	3,019						
活動	+	70-	男女共同参画地域ミーティング出席者数	人	実績	95	100	98				国費									
					達成率	79.17%	83.33%	81.67%				その他									
実施 期間	始期	終期	事業の概要								人件費	1,220	1,735	1,713							
	H14	予定・見込があれば記入	男女共同参画計画に基づき、全県域に県民大会の開催、地域における男女共同参画推進を支援するための行政・地域リーダー等のミーティング実施等、各段階に応じて、男女共同参画社会づくり及びジェンダー平等の推進を行う。									1.5	1.5	1.5							
											10,149	9,075	8,957								

5 DV防止対策推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	-	-	-	/	予算	事業費計	1,819	1,995	2,009	2,133	評価	各種会議の開催により、関係機関との連携強化に努めることができた。引き続き、若年層がDVの加害者、被害者、傍観者にならないよう、学校等でのデートDV、性暴力予防啓発講座について、教育委員会とも連携し、広報を行うこととしている。	方向1	このまま継続		
成果		70-	DV被害相談件数	回	実績	704	572	608			国費								方向2		
					達成率	-	-	-			その他									方向3	
指標種類2	指標名称2			単位	計画	2	2	2			決算	事業費計	902	1,362	1,569				見直し 方向性		
成果	+	70-	DV防止対策推進会議の開催回数	回	実績	1	1	1				国費									
					達成率	50.00%	50.00%	50.00%				その他									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	4	4	1		人役		事業費計	902	1,362	1,569						
成果	+	70-	DV防止対策連絡会の開催回数	回	実績	4	2	1				国費									
					達成率	100.00%	50.00%	100.00%				その他									
実施 期間	始期	終期	事業の概要								人件費	1.6	1.6	1.6							
	H14	予定・見込があれば記入	DV防止法及び愛媛県男女共同参画推進条例で、DV行為による被害を受けた者に対し、必要に応じた支援を行うと規定しており、その対策として本事業を実施している。また、若年層へのDV防止啓発の取り組みとして本事業を実施している。									10,826	9,680	9,554							
											10,826	9,680	9,554								

6 男女共同参画センター管理委託費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	-	-	-	/	予算	事業費計	67,198	76,008	71,268	83,522	評価	年間受講人数の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと推測され、現在の事業コストでできる最大限の管理運営が行われているものと評価している。	方向1	このまま継続		
成果		70-	施設利用状況	人	実績	33598	31568	49720			国費								方向2		
					達成率	-	-	-			その他	12	12	12	12					方向3	
指標種類2	指標名称2			単位	計画	-	-	-			決算	事業費計	67,198	75,996	71,256				83,510		見直し 方向性
成果		70-	女性に関する様々な悩みについての相談件数	件	実績	1705	2096	2090				国費									
					達成率	-	-	-				その他	12	12	12						
指標種類3	指標名称3			単位	計画	605	605	605		人役		事業費計	67,156	75,551	71,224						
活動	+	70-	年間受講人数	人	実績	531	467	482				国費									
					達成率	87.77%	77.19%	79.67%				その他									
実施 期間	始期	終期	事業の概要								人件費	0.4	0.4	0.4							
	S62	予定・見込があれば記入	男女共同参画センターの管理運営に要する経費である。									2,707	2,420	2,389							
											2,707	2,420	2,389								

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名 **kk06**

男女共同参画社会づくり

1 男女共同参画センター衛生環境整備費	コスト (単位：千円)						コスト (単位：千円)			
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度		
評価対象外の理由	事業費計	20,749	44,162	0	0	事業費計	16,159	43,181	0	
その他	国費	20,749	44,162			国費	16,159	43,181		
評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他				
施設整備(一部繰越)のみのため	県費					人役	0.4	0.4		
						人件費	2,707	2,420		